



ESG戦略構築に向けた将来シナリオ策定支援

気候変動による自然災害の増加、少子高齢化といった人口動態の変化、グローバル化やそれに伴う格差の拡大、AIやロボット技術等のデジタル技術の進化、政情不安等の地政学リスクの高まり、シェアリングエコノミーに代表されるライフスタイルの変化等、様々な社会課題や変化が生じています。

環境・社会・ガバナンスを考慮するESG投資が拡大するなか、中長期的なスパンから、企業と社会の持続可能な発展を見据えた事業戦略に対する投資家の関心が高まっています。気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）では、2℃シナリオ等の気候シナリオに基づく企業への影響の分析や情報開示を企業に求めています。不確実性の高い現代においては、気候変動のみならず、少子高齢化やデジタル技術の進化等の社会経済シナリオを踏まえ、事業戦略を検討していくことが、企業のレジリエンス（強靱性）を高めるうえで有効です。

当社では、2030年～2050年といった中長期の将来シナリオを描き出し、マテリアリティ(重要課題) や中長期ビジョン等のESG戦略を構築することを、ワークショップ等を通じて支援致します。

社会課題の
変化・深刻化

気候変動の進行

少子高齢化

政情不安

デジタル技術の
進化

水資源の枯渇

新興国の
人口爆発

格差の拡大

ライフスタイルの
変化

ステークホルダーからの要請の高まり

行政

株主

地域社会

お客様・
お取引先

パリ協定
世界的な平均気温上昇を
2℃未満へ抑える2℃目標の
策定

ダイベストメント
温暖化につながる
化石燃料産業からの
投融資の撤退

環境・社会に配慮した操業
温暖化防止や人権等に
配慮した操業

TCFD
気候変動に関する
企業のリスク・機会等の
情報開示ガイダンス

SDGs
国連サミットで採択
された17の開発目標

環境・社会への配慮型
製品・サービス
環境面・社会面に配慮した
製品・サービスの開発

ESG投資
中長期的な将来の企業価値
向上に繋がる環境・社会・ガバ
ナンスを考慮した投資

ビジネスと人権に関する
国連指導原則
全ての国と企業が尊重すべき
グローバル基準

CSR調達
CSRの観点からの
取引先の選定・監査

企業に
求められる
対応

マテリアリティ(重要課題) 特定や長期環境ビジョン策定等の
ESG戦略の構築や情報開示が重要

期待
される
効果

投資家等のステークホルダーからの
事業活動に対する適切な理解促進と信頼向上

ワークショップでは、最初に、ESGを巡る最新動向や、シナリオプランニングについて講習を行います。
シナリオプランニングでは、現在から将来までの間に起こり得る、人口・経済・エネルギー・テクノロジー等の社会全般に関する変化を挙げていき、将来のシナリオ（未来年表）を作成します。シナリオプランニングは、不確実性が高い状況のなか、複数の将来シナリオを描くことで未来を可視化し、将来に向けた戦略を構築する手法として、有効といえます。

グループディスカッションでは、将来に向けてどういった社会変化が起きるかディスカッションをしたうえで、そうした社会変化が自社にもたらすリスク・機会を洗い出します。最後に、社会変化やリスク・機会を踏まえ、自社が取るべき対策について検討をします。各部門のメンバーがグループディスカッションに参加し、部門横断で議論することにより、事業活動に対する従業員の理解促進が図れます。

ワークショップを通じて検討した結果を踏まえ、自社のマテリアリティ（重要課題）や中長期ビジョンを策定し、投資家等のステークホルダーに対して情報開示していくことが望まれます。

ワークショップの流れ(イメージ)



SOMPOリスクマネジメント株式会社

コーポレート・リスクコンサルティング部
〒160-0023 東京都新宿区西新宿1-24-1 エステック情報ビル
TEL 03-3349-9179
<公式ホームページ><http://www.sompo-rc.co.jp>
SOMPOホールディングスの一員です。